

福島県の皆さん初めまして、在アルゼンチン福島県人会です。昨年二月、県の招待を受けて原発事故の風評被害払拭（ふっしょく）を世界規模で実践するため開催された海外県人会サミットに出席させていただきました。参加した海外県人会の代表全員で話し合い、微力ながらも母県のお役に立てればとワールド県人会を発足させました。

もかかわらず、復興がなかなか進まない現状に心を痛めています。古里を離れざるを得なかった方々の気持ちを思うと、掛ける言葉が見つかりません。海外に住むわれわれが被災された方々に寄り添うのは難しいですが、ただ明日を信じて負けないでくださいと願うのみです。

アルゼンチン県人会

会長・高橋靖宏さん



2012年3月11日、ブエノスアイレスにある日本庭園で開催された東日本大震災の被災地へ義援金を送るためのイベントで、産物を販売する県人子弟

海外から復興祈る

東日本大震災から三年が過ぎましたが、皆さんが一生懸命頑張っておられるに

さてアルゼンチンは南北グアイ、ブラジル、ウルグアイ、チリと国境を接して

たかはし・やすひろ 福島市出身。福島高、拓殖大卒。1968年にアルゼンチンに移住し、花栽培に取り組み。ラプラタ大日本研究センターで日本語講師。アルゼンチン野球連盟副会長、メルコフロール花卉（かき）組合の組合長など歴任。アルゼンチン拓植協同組合専務理事。69歳。

います。日本の約八倍の面積があり、私が住むブエノスアイレス州だけでほぼ日本と同じ面積があります。季候は日本と正反対で日本との時差は十二時間です。人口は四千万人強で以前は



ヨーロッパ系の移民が多数でしたが、今は周辺国やアジア、アフリカからの流入が増えています。人種の違いという感じがします。世界自然遺産としてイグアスの

滝やペリトモレノ氷河などがあります。そしてタンゴとサッカーとアサード（焼き肉バーベキュー）の国というのが世界の大方の評価だと思いますが、他にもたくさんあります。一度おいでいただければその良さが分かると思います。

在アルゼンチン県人会は創立七十五年目を迎え、会員は五百人を超えます。既に三世、四世の時代を迎えており、役員の中で一世は私一人です。活動は主に年一回の会員の交流会、研修生、留学生の選抜、送り出し、各種イベントへの出展と福島県の紹介などです。

一日も早い福島県の皆さんの震災や原発事故からの復興を在亜県人会員一同、心より願ってやみません。

2013年4月、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスにある沖縄連合会館で開催した県人会員の交流会